

総事業費35億の内、市の持出しは4億~5億程度。
この計画予算の変更は

建設部長
計画事業費は変わっていない。



党公明 中村久幸 議員

自転車歩行者専用道路の整備について

議員 島鉄南線跡地の無償譲渡を受け、深江から加津佐まで、8つのまちをつなぐ自転車歩行者専用道路への活用を決定された、松本市長のこの道路整備にかける思いを。

市長 これまで、日常的な市民の暮らしを支えてきた島原鉄道跡地を、通勤、通学、買物など市民の生活を担う道路、散歩やジョギングなど、市民の健康増進のための道路、高齢者の皆さん方にとって、自動車に代わる

自転車での通行ができる安全な道路、市民の皆さん方が多様な交流をするための道路などの様々な役割が期待される。

さらに観光振興の面においても、市内の観光資源を結ぶ自転車歩行者専用道路として、かつ、風光明媚な景色の魅力を伝える散策道路として、大きな効果をもたらすものと考えている。

議員 計画書に示された実施スケジュールと、現在の進捗状況は。

市長 令和2年度から、国の補助事業の決定をいただき、現在、全区間の平面測量・設計と、加津佐から原城の区間の詳細測量設計業務に着手している。令和3年度からの整備工事の着手と早期完成に向けて事業を進め、加津佐から深江までの約32キロ、これを3期に分けて、1期が加津佐から原城間、あと、約10キロごとに2期、3期と早期完成を目指している。

議員 前回の定例会で、総工事業費の予算と、市の持ち出し分の質問に建設部長は、35億ぐらいを予定している。そのうち、国からの交付措置が約6割として、残りの14億に對して、過疎債を使うと7割の交付措置があるので、市の持ち出しは4億から5億円程度だと答弁された。この計画予算の変更はないのか。

市長 現時点で、橋梁等も一定考慮した中で計画事業費は、変わっていない。

議員 水処理など、懸念されることにも、しっかりと対応しながら進めていただきたい。



自転車歩行者専用道路イメージ図

質問の様子を動画で見よう



全国市議会議長会表彰



(左から、林田久富議長、川田典秀議員、柴田恭成議員、黒岩英雄議員、小林知誠議員、金子憲太郎議員)

5月27日に開催された、第96回全国市議会議長会定期総会において、川田典秀議員が議員として25年以上努めたことにより、特別表彰を受賞しました。

また、林田久富議長、柴田恭成議員、黒岩英雄議員が議

員として15年以上、小林知誠議員、金子憲太郎議員が10年以上務めたことにより、一般表彰を受賞しました。

なお、在職年数については、町議会議員の在職年数の2分の1が通算されています。